

Zoom Up

3月中に全戸へ配布

防災ポケットブックが新しく

防災ポケットブックは、地震や風水害、火山の噴火、火災などの災害に備えるための冊子です。市では、2020年に初めて冊子を作成し配布。避難情報の変更や南海トラフ地震への対応など最新の情報に内容を更新し、3月中に全戸へ配ります。

1月1日に起きた能登半島地震では、家屋の倒壊や火災などで多くの方が被害に遭いました。災害が大きくなるほど、道路の寸断などで公的な支援は行き届きにくくなるため、自分の身は自分で守る「自助」が大切です。市では、自宅での備えに活用できるよう防災ポケットブックを作り配布しています。今回、4年ぶりに内容を更新し、3月中に全戸へ配ります。

最新の避難情報に更新

新しい防災ポケットブックの内容は、国の法改正や、県・市の地域防災計画

の計画改定に基づいています。警戒レベルと避難のタイミングを更新。電気・ガス・水道の停止や南海トラフ地震、火山の噴火への対応を新たに加えました。多くの方に必要な情報が行き届くよう、デジタル版では9言語に対応した他、点字版も作成する計画です。市内在住の早川くるみさん(21・下荻野)は「以前から非常持ち出し袋や水、食料なども用意していたが、1月の地震でさらに意識が高まった。ポケットブックが届いたら家族で災害への備えを再確認したい」と話します。防災ポケットブックは2月中旬から配布を開始。3月中には皆さんの手元



冊子はB6サイズで33ページ。全戸配布の他、公民館や図書館などの公共施設にも配架する。電子版も市HPに掲載。



マイ・タイムラインを作ろう

ポケットブックには、いざという時の行動計画を記載できるページがあります。自身の状況に合わせて作成し、家族で確認しましょう。

【わが家のマイ・タイムライン】

風水害時の警戒レベルごとに、準備・確認することを記載。避難場所や時間も事前に確認。

【わが家の防災メモ】

家族や親戚・知人の連絡先、災害の種類ごとの避難場所、注意点などを記入。

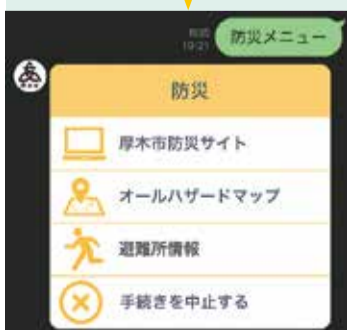


問 危機管理課 ☎25-2190

世帯の状況に合わせた避難方法を

災害時に落ち着いて行動するには、避難場所や経路、持ち物などの事前確認が大切です。ポケットブックが届いたら全体に目を通し、世帯の状況に合わせて災害時の行動計画「マイ・タイムライン」を作成してください(左欄参照)。災害はいつ起きてもおかしくありません。いざという時に命を守るよう、みんなで備えましょう。

防災情報をLINEで



市公式LINEで簡単にハザードマップや避難所情報が確認できます。防災行政無線の内容なども配信します(受信設定が必要)。



友だち登録はこちら▶

問 広報課 ☎25-2040

マイナンバーカードで便利 コンビニ交付サービスを拡充

マイナンバーカードがあるとコンビニエンスストアで、住民票などを取得できるサービスを提供しています。今後、交付できる証明書を増やすなど、より便利にしていきます。



《取得できる証明書》

- ①住民票の写し ②印鑑登録証明書
- 3月18日から追加
- ③戸籍謄本・抄本 ④付票の写し
- 4月1日から追加
- ⑤最新年度の市・県民税(課税・非課税)証明書

※①②⑤は市内在住の方のみ取得可

《費用》300円(③は450円)

《利用場所》

マルチコピー機がある全国のコンビニエンスストア

《利用時間》

6時30分~23時(③④は平日9時~19時30分)
※12月29日~1月3日とメンテナンス日を除く

スマートフォンでもコンビニ交付が可能に

マイナンバーカードの代わりにスマートフォン(Android)でコンビニ交付サービスが利用できます。利用にはスマホ用電子証明書の利用申請が必要です。詳細は市HPに掲載。

《利用できるコンビニ》

- ・ローソン
- ・ファミリーマート

詳細はこちら。交付の手順を動画でも見られます



問 市民課 ☎25-2110・市民税課 ☎25-2012 (税の証明)